

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：工学部

学年：2年

留学先大学名：University of Illinois, Chicago

現在の学期：Fall Term

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	10:00-10:50 Strength of Materials 11:00-11:50 Intermediate Thermodynamics 13:00-13:50 Mechanical Vibrations
火	11:00-11:50 Fundamentals of Music Theory
水	10:00-10:50 Strength of Materials 11:00-11:50 Intermediate Thermodynamics 13:00-13:50 Mechanical Vibrations
木	11:00-11:50 Fundamentals of Music Theory
金	10:00-10:50 Strength of Materials 11:00-11:50 Intermediate Thermodynamics 13:00-13:50 Mechanical Vibrations
土・日	

履修科目や近況について

・履修科目について

Strength of Materials は千葉大学の材料力学Ⅰ・Ⅱに相当する科目で、剛体にかかる力とそれに伴う剛体の変形の計算方法を学習します。2章ごとにある小テストと学期終わりに予定される最終試験で成績が決定されます。

Intermediate Thermodynamics は千葉大学の熱力学Ⅰ・Ⅱに相当する科目で、主に気体を巨視的に観察した時に導かれる物理法則について学習します。課題の提出、2回の

中間テスト、最終テストで成績が決まります。

Mechanical Vibrations は講義から察するに千葉大学の機械振動学に相当するものだと思います。この講義では、物体の振動を解析する方法を学習します。この授業はいわゆる講義とかなり形態が異なっています。まず授業が始まる前に講義動画を視聴してVLR (Video Lecture Reflection) といわれるノートを作成し提出します。そして授業中では講義動画にまつわる ICP (In-Class Practice) という課題をこなし提出します。またすべての講義を通して計4回の Project が設けられることになっています。Project とはより実践的な課題であり、現在のところ自身で物体を用意し、その物体の振動を Project ごとに指定された観点からソフトウェアで解析した後、それについて説明した動画を限定公開で YouTube に投稿するという形態をとっています。この授業にテストは設けられておらず、提出物で成績が決定されます。

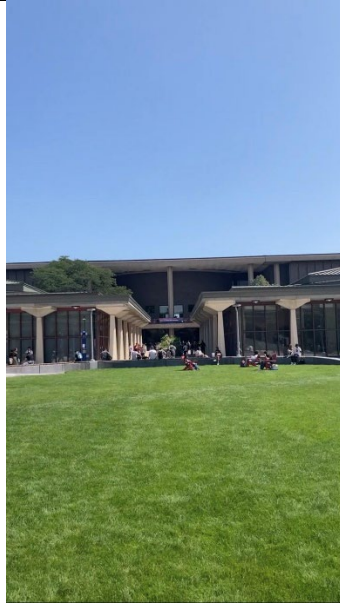
Fundamentals of Music Theory は音楽理論の基礎を学習します。成績は宿題、中間テスト、最終テストで決定されます。

#### ・近況について

現在アメリカに到着してから2カ月弱が経過したところですが、ようやく英語を聞き取ることに慣れてきて英会話が以前よりはスムーズになりました。自身がアメリカで学生生活をしていることの実感も強まり、生活もより楽しめるようになりました。アメリカに来て、ネイティブスピーカーはもちろん、他の留学生と比較したときの自身の英語力の低さを痛感したおかげで、日常的に英語学習をする習慣ができました。現在はアメリカの YouTube チャンネルの動画をみたり、料理中にシャドーウィングをしたりして、寮にいるときも英語に触れる時間を増やしています。

また英語を話す機会を増やすためにも、できるだけ積極的に外で活動するようにしています。クラブはソーラン節クラブに所属しており、毎週火曜日にソーラン節を練習しています。ちなみに日本人は僕だけです。また、International City Group と呼ばれる、留学生が多く所属する団体に所属しており、そこに所属する学生たちと食事をしたり遊びに行ったりしています。そのほか、学内でできた友達とも遊びに行くこともあります。

残り2カ月あまりの滞在ですが、自身に良い刺激をたくさん与えられるように、この環境でしか得られない経験をできるだけ多く積んでいこうと思います。



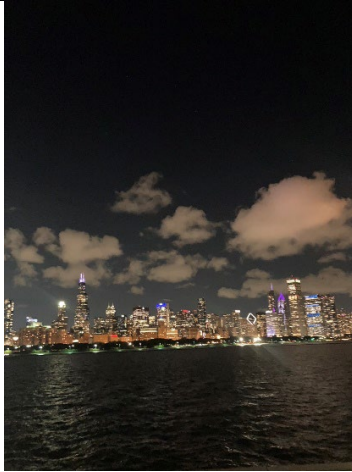
(キャンパス内にある広場)



(シカゴの大通り)



(Taste in Chicago にて)



(アドラープラネタリウムの外から見える夜景)